

## 式辞

春の訪れとともに、本日、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、茨城県立鹿島高等学校並びに附属中学校、令和6年度、入学式を挙行できますことを、心より感謝し、厚く御礼申し上げます。

令和6年度入学者選抜では、鹿島高校と附属中学校、ともに高い倍率でした。その難関を突破してのご入学です。新入生の皆さん、おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。

鹿島高等学校は、創立114年目を迎える伝統校です。また、進学重視型単位制への年次進行での移行、2年目にあたります。附属中学校は、開校5年目を迎えました。新入生40名の皆さん並びに保護者の皆様には、義務教育の過程で、本校への入学を選択していただきました。心からご入学を歓迎いたします。

さて、新入生の皆さん、晴れてご入学されたこの鹿島高等学校、鹿島高等学校附属中学校での学校生活のスタートにあたり、私から皆さんに望むことがあります。よりよい成長のために、二つです。

一つは、切磋琢磨です。仲間たちとお互いに学び合い、競い合い、認め合うことです。普段の学習、学校行事や部活動、探究活動や大学受験に向けた学習などに、しっかり取り組んでいくなかでの「学び合い、競い合い、認め合い」です。皆さんが、切磋琢磨していくことを期待したいと思います。

もう一つは、レジリエンスを鍛えることです。レジリエンスとは、困難な状況から回復する精神力です。仲間たちと切磋琢磨する過程で、生活の中で、人間関係づくりで、様々なストレスを感じる可能性があります。そういった時に、

しなやかに対応して、逆境に負けない心、レジリエンスを高め、鍛えていただきたいと思います。

保護者の皆様、私ども教職員は、生徒一人ひとりの教育に専念する所存です。しかしながら、中学・高校時代は、多感であり、成長と発達の変化が激しい時です。子供から大人へ近づく歩みの途中で、時には不安な発達を示すときがあるかもしれません。本校では、学校と家庭、地域が一体となって生徒の成長を支えていく教育を推進してまいります。保護者の皆様におかれましても、生徒の歩む姿や努力の足跡を見つめ、時には温かく、時には毅然とした態度で、励ましていただきますようお願いいたします。

結びに、新入生の皆さんが、本校の恵まれた教育環境、充実した教育プログラムのもと、明るく健やかな学校生活を送れますよう祈念して式辞といたします。

ご入学、誠におめでとうございます。

令和6年4月9日

学校長 小沼 浩幸